

第 3 9 回 全 関 西 中 学 生 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 交 歓 大 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第39回全関西中学生バスケットボール交歓大会					
●日程	令和3年12月27日 (月) ~			令和3年12月29日 (水)		
●会場	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)					
●講師	神田 亮一 様、市川 雄介 様、皆川 義紀 様、森原 隆 様、大下 俊之様 また、今大会に派遣された審判員の皆様					
●スケジュール	令和3年12月27日 (月) 広島県立総合体育館(グリーンアリーナ) 開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 13:05 コートイン・コートインスペクション 13:15 ゲーム開始(担当1試合目) 15:50 コートイン・コートインスペクション 16:00 ゲーム開始(担当2試合目) 18:30 審判研修会 講師: 神田 亮一様(中国ブロックインストラクター部会長) 研修会テーマ「正しく判定するために」~2PO・3POメカニクスとIOTの共通理解~					
●担当試合	令和3年12月27日 (水) 16:00 ~					
	対戦カード	四日市メリノール学院		VS	B.FORCE 愛媛	
	主審	主審	宮崎 拓 氏(広島)	U1	河崎	U2
	講師/主任	佐伯 有三 氏(岡山)				
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・両レフリーとも、無駄なファウルは少なく、取り上げるべきイリーガルな手の使い方やコンタクトについて判定ができていた。 ・メリノールのキープレイヤーのパーミングをどう見ていたか。(タイムアウトの間に話題には出していたものの、最後まで取り上げなかった。) ・一試合通して、もう少しトラベリングを取り上げてよかったのではないかと。(0ステップvsイリーガルステップ) 				
	自己の感想	<p>初日の2試合目でしたが、レベルの高い試合を2POで担当させていただきました。</p> <p>よかったところとしては、トスアップ直後のポジションアローについて、白のコーチから「アローが逆ではないか?」という質問がありましたが、アローの向きが正しいという確信もあり、ベンチサイドの私からコーチに対して端的に説明しました。ゲームの序盤から何が起こるか分からないので、コート内のプレーやT.O、表示物に注意しておくことや、質問された時などのベンチとのコミュニケーションの取り方を工夫することができました。</p> <p>課題としては、このカテゴリーで発生しやすいトラベリングやパーミングなどをクルーで取り上げきれなかったことです。どこまでを技術として捉え、どこからをイリーガルなプレーとして判定を下すかの難しさを感じるゲームでした。</p>				

**第39回全関西中学生バスケットボール交歓大会
参加報告書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第39回全関西中学生バスケットボール交歓大会						
●日程	令和3年12月27日 (月) ~ 令和3年12月29日 (水)						
●会場	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)						
●講師	神田 亮一 様、市川 雄介 様、皆川 義紀 様、森原 隆 様、大下 俊之様 また、今大会に派遣された審判員の皆様						
●スケジュール	令和3年12月28日 (火) 広島県立総合体育館(グリーンアリーナ) 開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 11:45 コートイン・コートインスペクション 12:00 ゲーム開始(担当1試合目) 14:15 コートイン・コートインスペクション 14:30 ゲーム開始(担当2試合目) 閉講式なし 試合終了後、適宜解散						
●担当試合	令和3年12月28日 (火) 12:00 ~						
	対戦カード	四日市メリノール学院		VS	RIZINGS 徳島		
	主審	主審	大下 俊之 氏(島根)	U1	河崎	U2	石井 寛都 氏(兵庫)
	講師/主任	なし					
	講評	IRがついていませんでしたので、クルーで話をした内容を記載します。 ・PGCでチーム情報の共有を含めコミュニケーションをしっかりと取れたのがよかった。 ・トラベリングについては明らかなものは取り上げることができた。 ・クロック管理もクルー全員で徹底することができた。					
自己の感想	今大会初めて3 POで担当させていただきました。 CCは大下様でしたが、片方のチームは前日に私が担当したということもあり、チーム・プレーヤーの特徴や情報を私の方からクルーに伝え、その内容を共有した上で試合に臨むことができました。試合展開としては一方的な試合になりましたが、クルー全体で集中を切らすことなく判定やクロック管理を最後まで行うことができました。トラベリングについても、クルー間で共有した点についてはしっかりと判定できていました。 個人的には、クルーのシングルコールで良いところをセカンドリーとして鳴らしてしまっていることがあり、3 POのプライマリーの理解をもっと深めていく必要があると感じています。						

第 3 9 回 全 関 西 中 学 生 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 交 歓 大 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第39回全関西中学生バスケットボール交歓大会					
●日程	令和3年12月27日 (月) ~		令和3年12月29日 (水)			
●会場	広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)					
●講師	神田 亮一 様、市川 雄介 様、皆川 義紀 様、森原 隆 様、大下 俊之様 また、今大会に派遣された審判員の皆様					
●スケジュール	令和3年12月29日 (水)		広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)			
	開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 13:05 コートイン・コートインスペクション 13:25 ゲーム開始 閉講式なし 試合終了後、適宜解散					
●担当試合	令和3年12月29日 (水) 13:25 ~					
	対戦カード	倉敷市立南 VS 明豊				
	主審	主審	皆川 義紀 氏(広島)	U1	河崎	U2 岡本 健太郎 氏(滋賀)
	講師/主任	皆川 義紀 氏				
	講評	<p>・事前にクルー間で持った共通認識(各クルーの特徴や目標、クルー全体の目標)を最後まで持ち続けることができた。</p> <p>・ゲームを円滑にかつスピーディーに終わらせるために、アイコンタクトをはじめとした各クルーとのコミュニケーションを全員が意識することができていた。</p> <p>・ゲームフローを感じながら、無駄なファウルを取り上げずにゲームを進めていくことができた。</p>				
	自己の感想	<p>最終日は、男子3位決定戦を3POで担当させていただきました。</p> <p>CCの皆川様からは、PGCで以下のお話をいただきました。</p> <p>①このゲームの特徴、試合中レフリーが意識すべきこと(大人のゲームと違い、ボールデッドでトラブルは起こりにくい。また、U15の男子ゲームなのでスピーディーな展開が多いことが予想される。クォーター始まりやタイムアウト後はすぐにプレーを再開できるよう声かけをし、アイコンタクトを多用していくことでレフリーのOKサインなどの無駄な1秒、2秒を減らしていく。そうすることで、ゲームフローを感じながらレフリーが流れを止めてしまうことのないようにしていく。)</p> <p>②それぞれのレフリーの特徴・目標(積極的に笛を入れるタイプ or RSBQの見極めを大事にするタイプかを事前に聞かれ、それぞれの特徴を最大限に活かす約束事を決めた。)</p> <p>③誰が試合を「引っ張るか」(CCではなくともCCと同じメンタリティーで試合をリードしていけるか。)</p> <p>CCの皆川様からは、「ゲームとしての商品価値」を最大限に高めるための目標として、「ゲームをスムーズに運営して、メインアリーナ4コートの中で一番早く終わらせる」というクルー全体の目標を立てていただきました。この目標の1番の目的は、単純に笛を吹かないという意味ではなく、「速攻の走り合いがあるスピーディーな試合=観客が一番この試合に求めているもの」を提供するために、レフリーが試合をリードしていくことでした。これを意識した結果、無駄なファウルを減らすために、よりRSBQを見極めて判定することができ、さらにレフリー同士の動きをより一層意識することができました。結果として複数回タイムアウトが取られた試合であったにもかかわらず、4コートのうち1番に終わらせることができました。</p> <p>また、U1としてショットクロックの音が小さい、ブザーとメインタイマーが連動していない等の機材の特徴をクルーに事前共有し、試合前にT.Oとコミュニケーションを取ることで無駄なトラブルの未然防止に努めました。日頃行っているルーティーンですが、この意識がCCには求められることを改めて再認識しました。</p> <p>最終日に、トップリーグを担当されている皆川様から今まで意識をしたことのない観点でお話していただき、本当に勉強になりました。来年は、この全関西で得た経験を自らの審判活動に活かしていきたいと思えます。</p> <p>最後になりましたが、本大会のためにご準備をくださいました広島県バスケットボール協会の皆様と、本大会に参加させていただきました大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、本当にありがとうございました。</p>				